



No.039 九州デジタルガバメント構想 (その10) 電子通貨で変わる世界



参考 : <https://jp.reuters.com/article/china-markets-digital-currency-idJPKBN1XG0E3>

経済が電子通貨(暗号資産)YENで置き換えられるとどんな世界になるでしょう。

例えば給料がYENで支払われます。YENは雇用主から直接本人のスマホに支払われ、そのまますぐに買い物や送金に使えます。手間もかからず振込手数料もいらないので、月一度と言わず毎日送ることも簡単。働いた時間分を毎日受け取ることにすれば、それは自分の給料ですから前借りではありません。

雇用主は手間のかかる源泉徴収事務から解放され、給与の支払いと同時に税金や社会保険料の支払いも終了します。消費税も電子決済と同時に税務署に納税完了。

今の徴税は民間企業に膨大な作業をさせています。電子納税だけとなると情報のやり取りしれないので、途中の銀行や雇用主を煩わせる必要がなくなるのです。

もちろん今の法律のままではできません。これを実現するには、税制の制度設計に暗号資産の技術仕様をどう組み込むかが重要です。つまり税制をそのままにして徴収の仕方だけを電子化するというのではなく、電子化によって税制自体をリデザインすることになるのです。イノベーションを実現するための政策デザイナーの力量が試されます。

お金の流れは価値移転情報そのものです。価値を紙に化体させないで、お金は情報としてのみ世の中を回る、そんな時代は目の前です。恐れず向き合うことが大事だと思います。